

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
30	杏林大学	中国文学史 I (周～唐)	詹 満江 外国語学部 教授	2	前期	火	15	10:40～12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

有史以来唐代までの中国文学の概要を時系列に沿って知る。

【授業の概要】

中国の歴史は長いので、その文学史となると、膨大です。この講座では、膨大な中国文学の簡単な見取り図のような情報を提供します。基本的なことさえわかれば、あとは興味の赴くまま、広大な中国文学の山河を迷わずに逍遥できるでしょう。

【授業内容】

第1回：導入

授業の進め方を説明するとともに、中国についての基礎知識を確認する。

第2回：序論-中国文学の性質

ヨーロッパとほぼ同じ広さの国土でありながら、ヨーロッパのように国が分かれず、一つの国として共通の文化・文学を形成できたのは「漢字」があったから。

第3回：『詩経』-中国最古の詩集

中国古典詩の原点である『詩経』の精神とは、「思い邪無し」。

第4回：楚辞-南方の歌謡

北方とは異なった文化圏。巫系文学の風土が生んだ独特の文学。

第5回：諸子百家-春秋戦国時代の遊説家たち

下剋上の時代に活躍した遊説家たちの様々な思想は、後の儒教と道教（と外来の仏教）という大きな流れとなる。

第6回：司馬遷の『史記』-紀伝体の始まり

歴史を重んじた中国では、歴史の記録は命がけの大事業であった。

第7回：竹林の七賢

部下が上司に取って代わるという陰悪な時代、世俗を遁れて生きた七人の賢者がいた。

第8回：田園詩人-陶淵明

弱小貴族の出であった隠逸の詩人は、素朴な田園の美しさを詠った。

第9回：山水詩人-謝靈運

一流貴族の出であった謝靈運は、財力に物を言わせ、山林を切り開いて遊んだ。

第10回：初唐の四傑

唐の初め、まだ唐らしい文学が芽生えていなかったときの四人の傑物。

第11回：詩仙-李白

「天馬空を行く」と評された天才詩人は異邦人だった。

第12回：詩聖-杜甫

どこまでも儒教の精神を貫き通した壮絶な一生は人々の胸を打つ。

第13回：詩魔-白楽天

「長恨歌」「琵琶行」など、その浪漫的な詩は日本にも影響を与えた。

第14回：恋愛詩人-李商隠

唐の晩期、夢とも現（うつつ）とも分かたぬ恋の儂さを詠じた。

第15回：総まとめ

授業に関する意見交換、期末レポート提出。

課題に対するフィードバックの方法

学生の課題提出物について、適宜コメントを返す。

【成績評価方法】

毎回の課題の提出(60%)と期末レポート(40%)。

【教科書】

松原 朗他著『教養のための中国古典文学史』研文出版 2009年

【参考書、教材等】

※ この授業は、4/5(火)が初回です。